

# 1. 評価結果概要表

評価確定日 平成20年9月10日

## 【評価実施概要】

事業所番号	4072400320
法人名	社会福祉法人 明筑会
事業所名	グループホーム ひかり
所在地 (電話番号)	福岡県筑後市尾島510番地の1 (電話) 0942-53-0040
評価機関名	社団法人 福岡県介護福祉士会
所在地	福岡市博多区博多駅前中央街7-1シック博多駅前ビル5F
訪問調査日	平成20年7月29日

## 【情報提供票より】(平成20年6月30日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	平成 15年 10月 20日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	8 人	常勤	7人, 非常勤 1人, 常勤換算 6人

### (2) 建物概要

建物形態	<input checked="" type="radio"/> 併設 <input type="radio"/> 単独	<input type="radio"/> 新築 <input type="radio"/> 改築
建物構造	鉄骨 造り	
	1 階建ての	1 階 ~ 階部分

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	30,000又は31,000 円	その他の経費(月額)	円	
敷 金	有( 円)	<input checked="" type="radio"/> 無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	<input checked="" type="radio"/> 有( 100,000 円)	有りの場合 償却の有無	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり		900 円	

### (4) 利用者の概要(平成20年6月30日現在)

利用者人数	9 名	男性	0 名	女性	9 名	
要介護1	3 名	要介護2	2 名			
要介護3	3 名	要介護4	1 名			
要介護5	0 名	要支援2	0 名			
年齢	平均	90 歳	最低	83 歳	最高	99 歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	新船小屋病院、山崎医院、なかお歯科
---------	-------------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

ホームは自然豊かな住宅地に位置している。系列軽費老人ホームの入居者が認知症を発症すると病院や施設等へ移動していたため、住み慣れた場所でその人らしく暮らせるようにこの運営者の強い熱意で同じ敷地内に開設された。従って、特に利用者と職員の馴染みの関係を重視して、職員の異動や退職者をなくす努力をされている。職員の異動はせず、希望の1人を除く全職員を正職員にしている。さらに職員に毎年7日間のリフレッシュ休暇を取れるよう様体制づくりをしており、いつまでも生き生きと勤務できるよう配慮されている。また、多くの利用者が思いを言葉で表現できないため、「心の声によりそい」と理念に掲げて、一人ひとりの心の声によりそう支援が日々の暮らしの中で実践されている。電子ピアノを奏でる利用者のリズムに合わせて一緒に歌を口ずさむ方、系列の軽費老人ホームへ密閉容器を持って行き昼食を取りに行く方、それらを盛り付ける方、それぞれ穏やかな表情で自分の役割を持った暮らしがある。特に、終末期を迎えた利用者の心の声によりそうケアの実践事例には家族以上の熱意が伺えた。運営者、管理者、職員が一つとなって取り組まれるケアに、今後更なる発展が期待できる。

## 【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	改善課題「理念」を管理者と全ての職員で話し合っ事業所と地域との関係性を謳った事業所独自の理念としてつくりあげ、実践している。
重点項目②	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	運営者、管理者、職員は自己評価、外部評価の意義について理解しており、全ての職員が分担して自己評価に取り組み、更に全職員で話し合っ作成している。
重点項目③	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)
	運営推進会議は、地域包括支援センター、行政区長、地域住民、家族代表などの参加で2ヶ月毎に開催している。入退所、行事などサービス状況報告や地域へもっと出向く方法を取り入れたいなど、会議参加者との意見交換をサービス向上に活かしている。事故報告や市外からの入居希望がある場合などに市町村担当者へ相談してサービス向上に取り組んでいる。
重点項目④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部8, 9)
	利用者の暮らしぶりなどを担当職員が2ヶ月毎に「ひかり便り」に手書きで詳細に書いて家族へ郵送している。金銭管理状態は家族面会時に説明している。また、苦情受付箱の設置、重要事項説明書で苦情受付担当者、第三者委員会の明記などしている。更に、家族懇談会で意見を聞くが、家族、関係者から不満等が聞かれないため、家族会を設けて家族同士の集まりの場で意見や苦情など安心して出せる仕組みをつくりし、その意見を運営に反映させることが望まれる。
重点項目④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	地区公民館で開催された講演会へ4名の利用者が参加している。また、小学生を招いて系列施設の軽費老人ホームと合同で餅つきをしたり、花壇の花植えを利用者と一緒に行っている。七夕祭りには、近くの幼稚園2箇所の訪問を受けて交流を続けている。

## 2. 調査結果(詳細)

(  部分は重点項目です )

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	理念を昨年管理者と職員と一緒に話し合ってみなおし「地域の中でその人らしく生き生き楽しくゆったりと暮します」「おひとり々の心の声によりそっていきます」と事業所独自の理念をつくりあげている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	会議や毎日の申し送り時に、理念に基づいた日々の対応ができていないかを、職員間でお互いに確認し合っ て理念の実践に取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地区公民館で開催される講演会へ4名の利用者が参加している。また、小学生を招いて系列法人施設の船小屋荘と合同で餅つきを行ったり、花植を入居者と一緒に行っている。七夕祭りには近くの幼稚園2ヶ所の訪問を受けて交流を続けている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	改善項目を全職員で話し合っ て改善に取り組んでいる。自己評価、外部評価の意義についても理解しており、全ての職員が分担して自己評価に取り組む、更に全職員で話し合っ て作成している。		
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は、地域包括支援センター、行政区長、地域住民、家族代表などの参加で2ヶ月毎に開催している。入退居、行事などサービス状況報告や地域へもっと出向く方法を取り入れたい、など会議参加者との意見交換をサービス向上に活かしている。		
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	事故報告や市外からの入居希望がある場合などに市町村担当者へ相談してサービス向上に取り組んでいる。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
7	10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	地域権利擁護事業や成年後見制度についてのチラシは来訪者の目に付く場所に準備しているが、系列の軽費老人ホームに任せている。管理者、職員がそれらの制度を十分理解して家族への説明や必要な人が活用するための支援はできていない。	○	管理者、職員は成年後見制度や地域権利擁護事業についての理解に努め家族への説明や必要な人が活用できるよう支援することが望まれる。
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
8	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	利用者一人ひとりの暮らしぶりや健康状態などを担当職員が2ヶ月毎に発行している「ひかり便り」に相当なスペースを使って、手書きで詳細に書いて、家族へ郵送している。金銭管理状態は家族面会時に説明して署名をいただいている。		
9	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	苦情受付箱を設置し、重要事項説明書には苦情受付担当者、第三者委員会の明記をしている。更に家族懇談会の場などで意見を表せる機会を設けているが、家族、関係者からの意見や不満が聞かれない。筑後市よりまごころ相談員の派遣を毎月3名～4名受け入れている。	○	家族会を設けて家族同士の集まりの場で意見や苦情を安心して出せるような仕組みをつくって出された意見を運営に反映させることが望まれる。
10	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	運営者は利用者と管理者、職員との馴染みの関係の重要性を認識して、異動や離職を最小限に抑える努力をしており、過去1年以内の職員異動や離職者はいない。		
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
11	19	○人権の尊重 法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようにしている。また、事業所で働く職員についても、その能力を発揮して生き生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるよう配慮している	現在、職員は20歳代から50歳代までの女性職員のみであるが、年齢や性別等を理由に採用対象から排除することはない。運営者は毎年リフレッシュ休暇(7日)を取ることができるよう職員へ積極的に働きかけて、社会参加や自己実現の権利が保証されるよう配慮している。		
12	20	○人権教育・啓発活動 法人代表者及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる	運営者、管理者は職員に対する人権教育を最重要視し、内部研修では具体的事例を通して職員へ分かりやすく説明して啓発活動に取り組んでいる。		
13	21	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員は交代で外部研修に参加し、更に内部研修にて研修内容を報告している。また、同一法人の事業所合同で年間研修計画をたてて担当職員が課題に添った事例発表をするなど研修の機会を確保して職員を育てる取り組みをしている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
14	22	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>昨年発足した地域のグループホーム部会の定例会や研修会が毎月1回開催されており、主に管理者が参加して交流の機会を持ちサービスの質向上へ取り組んでいる。この夏から職員も参加する予定である。</p>	○	<p>今後、管理者以外の全ての職員の交代参加が定着して、勉強会や相互訪問等の活動を通じてサービスの質の向上への取り組みを期待したい。</p>
<b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
15	28	<p>○馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>1～2日から一週間の体験入居を希望する方もいるが、入院先から直接入居する方もいる。サービス開始前に家族や本人、関係者と話し合いを重ねて、納得していただくよう工夫している。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
16	29	<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場にもかかわらず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>洗濯物の干し方、調理方法、唱歌の歌詞など入居者と一緒に過ごし生活するなかで学ぶことが多く、共に支えあう関係が築かれている。</p>		
<b>III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
1. 一人ひとりの把握					
17	35	<p>○思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>利用者との会話や生活の中での様子、日々の言動から利用者の思いや意向を把握している。また、家族の訪問時の会話の中から把握している。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
18	38	<p>○チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>センター方式を用いて課題の分析を行っている。利用者の日々の様子や希望、家族の思いなどを介護計画に反映させている。担当者の作成した介護計画の原案をもとに関係者と会議を行って作成している。</p>		
19	39	<p>○現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じた見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>定期的に評価を行い、6ヶ月に1度関係者と見直しを行っている。状態変化時にはその都度介護計画の変更を行っている。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
20	41	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	病院受診の送迎や、利用者が軽費老人ホームでしていた生け花や習字クラブを継続しており、その送り迎えをしている。また、家族と連携をとって外泊支援を行っている。		
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
21	45	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人や家族等の思いを尊重し、いままでのかかりつけ医の受診が家族によって行われている。話し合いによってかかりつけ医から協力医に変更した利用者の受診後は、家族に受診の報告をしている。また、2週間に1回の往診もあり、利用者それぞれ適切な医療が受けられるように支援をしている。		
22	49	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	ホームとして終末ケアの方針を持っている。家族等の最終決断を尊重し、家族、医師、看護師、職員等と連携を図り、終末期における医療処置の対応と方針を共有している。昨年、終末期ケアを行った際、終末の本当に最期という時、利用者の自宅訪問や墓参りに連れて行き、利用者が安心して終末期を過ごせるように取り組まれた。		
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
<b>(1)一人ひとりの尊重</b>					
23	52	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	常に言葉遣いや態度に留意し、対応をしている。記録等の個人情報は事務所で管理、保管されている。広報「船小屋荘だより」は利用者の生活が伝わるような写真入りを発行し、配布している。写真が誰なのか特定されるものもあるが、その件で利用者や家族と話し合ったことはない。	○	利用者や家族だけでなく、他人も見るとなるので、写真掲載の在り方について一度、利用者や家族と話し合われることが望まれる。
24	54	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	すべてにおいて利用者一人ひとりの希望を最優先するようにしている。クラブに参加したり、散歩をしたり、利用者のあるがままに、楽しく、ゆったりと、本人が心地よいと思える過ごし方を支援している。		
<b>(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</b>					
25	56	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	昼食は系列の軽費老人ホームでつくられた食事をホームで利用者と一緒に器に盛り付け、配膳している。夕食作りは、利用者のできることをしてもらいながら一緒に作っている。職員全員ではないが、利用者とは話をしながらともに食事をとっている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
26	59	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	午前と午後、ゆったりと入浴してもらっている。皮膚疾患のある利用者は毎日入浴している。また、草とりなどの後の入浴や希望者にはシャワー浴などの支援をしているが、希望者の夜間入浴や希望者以外の毎日の入浴支援はしていない。	○	夏場の毎日の入浴や夜間入浴を検討中ということである。利用者の希望があるならば、できるだけ添えるような方向での対応を希望する。
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
27	61	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	食事作りの下準備、畑での野菜づくりや花植え、地域の草刈り、リビングや居室の掃除(ぞうきん掛けやモップ)、軽費老人ホームへ密閉容器を持って行き昼食を取りに行く等、それぞれ役割を持って暮らすことを支援している。また、お買い物、ドライブ、3ヶ月に1回の外食等、楽しみごとの支援も数多くしている。		
28	63	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	2日に1回、敷地内を散歩をしたり、スーパーへ食材や自分のものを買に行ったり、軽費老人ホームへお花やお習字のクラブに行くなど、一人ひとりの希望に沿った支援をしている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
29	68	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	夜間の施錠は行っているが、敷地が広く、いきなり道路に出ることはなく、日中は鍵をかけていない。帰宅願望の利用者には外に出たい様子を察知したならば、ついていき、落ち着くの見守り、一緒に帰ってくる。		
30	73	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	避難訓練を軽費老人ホームと合同でする場合と独自でする場合があるので3ヶ月に1回避難訓練をしている。出火場所を変えて訓練したり、夜間を想定したり、消防署と連携をとって実際に消防署へ電話をかけるなどしている。職員は避難場所、避難経路もしっかり把握している。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
31	79	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事の摂取量と水分摂取量を概ね把握している。カロリー制限のある利用者には、見た目は他の人と同じようにしつつカロリーを抑えるように工夫している。月に1回体重測定を行い、増減を観察している。3度の食事以外の飲み物では利用者の嗜好に合わせており、水分補給をしっかりできるようにしている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
32	83	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	リビングには季節の花が飾られ、利用者が筆で書いた言葉や折り紙等の作品が掲示されている。また、テーブルには新聞が置いてあったり、ボックスの棚に雑誌が入れてあったりして季節感や生活感があふれている。リビングの吐き出しのある大きな窓は、レースのカーテンも開け放たれており、少々真夏の日差しが気になったが、日頃から外の様子を眺められる利用者には窓からの景観が心をなごませている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
33	85	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>使い慣れた筆筒、いすやテーブル、時計、人形ケースや仏壇など持ち込み、一人ひとり個性ある居室になっている。家族の写真や家族からのメッセージなどがあり、安心してくつろげる自分の部屋になっている。</p>		